

平成23年度 評価計画及び自己評価

(計画・中間・**最終**)

倉橋西中学校区 校番23 学校名 呉市立倉橋西中学校

a 学校教育目標	知性・情操・体力が個性豊かに調和し、創造性に富み、実践力のある生徒を育成する。	b 経営理念 ミッション・ビジョン	<ミッション>(学校の使命) 「ふるさと倉橋」を愛し、ふるさとから愛される学校づくり <ビジョン>(将来の学校像) 小中一貫教育のもと、学力の定着・向上、社会性の育成、ふるさと学習の推進を図る学校
----------	-----------------------------------------	----------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	① 学習への積極的な姿勢が育っておらず、学力が十分定着していない。「書いて話す」活動を授業展開に取り入れるとともに、子どものつまずきの解消と学習への期待や意欲を膨らませる授業づくりのなかで、学力の向上をめざす。 ② 小中一貫教育を推進している。昨年度の研究会の開催を機に「ふるさと学習」のカリキュラム化とそれに基づいて小中学校で実施した。新教育課程の対応、系統性等の視点から「ふるさと学習」改善を図るとともに、各教科等での「言語活動の充実」に向け「書く活動」と「話す活動」を手段とし小中学校で研究する。 ③ 生徒の社会性の育成と自主的活動の活性化が課題である。基本的な生活習慣の定着を図るとともに「ふるさと倉橋」を意識した地域での活動等、生徒の自主的活動を奨励する。
------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価計画(中期経営目標を設定してから 1・ 2 ・3 年目)							自己評価					
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	(11)月			2月			
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価	
***	基礎・基本の学力が身に付き、自ら学ぶ姿勢をもつ生徒の育成を図る。	ア 「書いて話す」言語活動の研究	ア 教科指導の中で「書いて話す」活動の恒常的な位置づけ ・学校行事等での「書いて話す」活動の活用	授業での実施度:90%	90	70	78	C	78	87	B	
イ 子どもの学びのポイントを的確に押さえた授業づくり		イ 子どもの学びに基づく授業の「ねらい」の設定 ・自主学習に向けてのノート活用の定着 ・課題学習等による家庭学習の奨励	実施回数:20回 教員の満足度:90%	20	17	85	B	20	100	A		
ウ ベーシックタイム(BT)の充実		ウ 学習のつまずきの克服と学習への興味づけをふまえた指導事項の選択	ノート等提出率:100% 家庭学習率:100%	90	90	100	A	74	82	B		
エ 特別支援教育の充実		エ 特別支援学級の充実 ・特別支援教育の研修	生徒の満足度:70% 保護者の満足度:70%	100	73	73	B	89	89	B		
			年間6回開催	70	79	113	A	72	103	A		
**	① 小中一貫教育の研究実践を推進する。	ア ふるさと学習の改善	ア ふるさと学習カリキュラムの見直し ・地域学習教材の開発	見直し策定:12月まで 開発件数:3件	12			D			B	
イ 交流授業・合同行事の継続実施		イ 交流授業 ・合同行事の実施	交流教科:3教科 年間実施回数:4回	3	1	33	D	3	100	A		
				4	2	50	D	4	100	A		
*	生徒指導を充実し、健全な社会性をもつ生徒の育成を図る。	ア 基本的な生活習慣の定着	ア 返事、挨拶、服装、時間、掃除についての粘り強い指導	教員・保護者の満足度90%	90	84	93	B	84	93	B	
イ 生徒の自主的活動の奨励		イ 地域ボランティア等を含む生徒の自主的活動の活性化 ・学校行事等生徒の発表の場の提供 ・作文等、コンクールへの応募・参加	生徒の満足度80% 生徒一人当たり年間4回の発表 生徒一人当たり年間4回の応募・参加	80	91	114	A	91	114	A		
ウ 生徒理解のための教育相談の充実		ウ 生徒指導研修、情報交換の実施 ・スクールカウンセラーの活用と教育相談の実施	生徒一人当たり年間4回の発表 月1回、年間12回実施	4	2.6	65	C	4.2	105	A		
エ 生徒の悩み等への支援		エ 体罰、セクハラ相談窓口の機能化	教員の満足度80% 月1回、年間12回実施	4	2.7	68	C	6.5	163	A		
				12	7	58	D	10	83	B		
				80	75	94	B	77	96	B		
				12	7	58	D	10	83	B		

【k:評価】

A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60

平成23年度 結果の分析及び今後の改善策

(中間 **最終**)

呉市立倉橋西中学校区 校番 23 学校名 呉市立倉橋西中学校

重点	d 中期(3年間) 経営目標	e 短期(1年間) 経営目標	l 結果の分析 (結果と課題をこう考えます)	m 今後の改善策(案) (こう改善します(案))
***	<p>基礎・基本の学力が身に付き、自ら学ぶ姿勢をもつ生徒の育成を図る。</p>	<p>ア「書いて話す」言語活動の研究</p> <p>イ 子どもの学びのポイントを的確に押さえた授業づくり</p> <p>ウ ベーシックタイム(BT)の充実</p> <p>エ 特別支援教育の充実</p>	<p>ア 「書いて話す」活動は達成度87%であり、中間の時よりも向上した。これは、授業(教科指導)の中で、活用しようとする意識が高まりつつあり、今後も引き続き取り組んでいきたい。学校行事での「書いて話す」活動は2月までに20回実施(100%)した。</p> <p>イ 授業の中での「ねらい」の設定の達成度は82%であり、中間時に比べ低くなっている。「ねらい」提示への意識にばらつきが生じた結果である。ノート等の提出率は89%と中間よりも16%高くなっている。また、家庭学習率も84%と中間よりも24%高くなっている。これは、①意識的に課題を出そうとする教員が増えた、②生徒のやる気が少しずつ向上してきた、③提出させざる教員の根気強さが増してきたこと等が要因と思われる。</p> <p>ウ ベーシックタイムについての生徒の満足度は目標値を超え103%の達成度であった。引き続き改善していきたいと考えている。</p> <p>エ 特別支援教育については、保護者の満足度の達成度は129%。研修も計画的に実施している。</p>	<p>ア 「書いて話す」活動の意識が高まりつつあるので、ワークシート等を利用するなど、教科の特性を生かしながら「話す」ことへも取り組んでいく。学校行事が「書いて話す」活動の原動力になっているので、限られた時間の中でも有効に活用し、教職員が指導・校正し練習させる取り組みを行う。</p> <p>イ 「ねらい」の提示を引き続き行うためには、教務を中心に教職員の自己評価アンケートを定期的実施する。ノートの提出・家庭学習をさせるために課題を出すことを、引き続き根気強く意識的に行い、提出率や家庭学習の習慣付けを行う。今後は内容を充実させる工夫を行っていききたい。</p> <p>ウ 今後もベーシックタイムの充実に向けて、教務を中心に学年の実態に合わせた内容(覚える学習等)を検討し改善を図る。</p> <p>エ 今後も、引き続き実践と研修に努める。</p>
**	<p>貫 小中一貫教育の研究実践を推進する。</p>	<p>ア ふるさと学習の改善</p> <p>イ 交流授業・合同行事の継続実施</p>	<p>ア カリキュラムの見直しについては、中学校1年生の総合的な学習の時間を入れ込むところまではできている。本年度の地域学習教材開発は、道徳、食育、地域調べの3点である。</p> <p>イ 交流授業は、中学校音楽科教諭の小学校兼務、理科の授業補助、中学2年生の小学校2年生への図工での活動、中学1年生による小学校6年生への学校紹介の交流授業を実施した。合同行事の実施については、春の遠足・合同海浜清掃・ふるさと倉橋歴史講演会を実施した。</p>	<p>ア カリキュラムの見直しの進捗状況について、小中一貫推進委員会で検討し、計画を見直ししていく。新たな地域学習教材の開発は、特別支援学級で火山の88ヶ所巡りを行うなど鋭意計画中である。</p> <p>イ 交流授業については、小学校と早い時期から連携し実施する。小中合同行事についても、今後も計画的に実施する。これからの行事としては、サンフレッチェ広島のコーチによる教育講演会及び「PTA教育講演会」と「特別支援学級交流会」を計画している。</p>
*	<p>生徒指導を充実し、健全な社会性をもつ生徒の育成を図る。</p>	<p>ア 基本的な生活習慣の定着</p> <p>イ 生徒の自主的活動の奨励</p> <p>ウ 生徒理解のための教育相談の充実</p> <p>エ 生徒の悩み等への支援</p>	<p>ア 教員は、社会性の育成を目指し、粘り強く指導していて、達成度は93%と中間と同じで。生徒の意識は向上しつつあり、学校全体で服装等について徹底的に指導した。</p> <p>イ 生徒の自主的活動の満足度だけを見ると、114%の達成度である。学校行事等での生徒の発表の場の提供は、年間4回の目標に対し4.2回と高く、2学期以降の学校行事や小中交流会などで、生き生きと活動できた。作文・コンクールへの応募・参加も年間4回の目標に対し6.5回と高値であり、学校行事や学年での取り組みによるものである。</p> <p>ウ 教育相談については、計画的(定期試験期間中)に実施している。また、スクールカウンセラーの活用と教育相談についても達成度96.4%である。</p> <p>エ 生徒の悩みへの支援については、生徒指導部からの定期的なアンケートの実施に基づき、面談等を実施している。問題等があれば、その都度解決へと導いている。</p>	<p>ア 全校一斉に服装について取り組み、ずいぶん改善が図られた。生徒と教員の根比べであるが、教職員の意識を統一し、生徒指導部を中心に計画を立て、指導していく。また、家庭の協力が欠かせないので、PTA活動でも協力を得る。今後も生徒会を中心とした取り組み(呼びかけ・点検)を考えさせていく。</p> <p>イ 生徒の発表の場を提供する取り組みを引き続き行う。行事の度に「書いて話すこと」を習慣付け、質の高いものへと導きたい。</p> <p>ウ 引き続き、教育相談を行う。</p> <p>エ 定期的にアンケートを実施し、スクールカウンセラーとの連携も含め、今後も時機を逸せずかつ丁寧に対応していく。</p>

平成23年度 学校関係者評価及び改善策

(中間・最終)

倉橋西中学校区 校番 23 学校名 呉市立倉橋西中学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A	○学力だけでなく、生活習慣の細部に渡り、目標や指標が適切に設定されていると思います。 ○前回に比べ高い評価になっており、先生方のご努力の賜物と頭が下がる思いです。現在無関心・非協力的と思われる保護者への現状の周知、啓発等、今後の課題かと思われます。
目標達成のための方策の適切さ	A	○設定された目標への基本的な事から始まっての1つ1つの指導の繰り返しがなされていると思います。 ○子どもたちに学力の差があるので、指導が大変なことだと思いますが、少しずつ向上していくものと思います。 ○前回に比べ高い評価になっており、先生方のご努力の賜物と頭が下がる思いです。
自己評価の結果と分析の適切さ	A	○本当に大へん細やかな自己評価がなされています。生徒達も向上しているように思います。 ○適切な評価・分析がされていると思います。できれば、もう少し深く、事象の裏側まで踏み込んだ分析があると更によいと思います。 ○前回に比べ高い評価になっており、先生方のご努力の賜物と頭が下がる思いです。
今後の改善策(案)の適切さ	A	○適切に考えられていると思います。しかし、「課題」を出し続けるだけでは家庭学習するようになるとは思えませんので、もう少し具体的な改善等も必要と思います。 ○先生の熱意は絶対に子どもたちに伝わります。先生を見つめる眼を生徒達は持っています。向上が眼に見えなくても、いつかは結果に出てきます。 ○前回に比べ高い評価になっており、先生方のご努力の賜物と頭が下がる思いです。
その他		○部活動の充実については、少人数の生徒・限られた指導教師の中で限界はあると思いますが、体育部だけでなく、文化部の創部を願っています。また、小中一貫校開校にあたり、今ある部活動を含め、活動内容の検討をお願いします。 ○学校関係者のお世話は大変かと思いますが、よろしく願いいたします。 ○特徴(特技)のある子どもをつくってみてはどうでしょうか。 ○保護者が学校教育にもっと関心を持つような仕組み・工夫が必要と思います。 ○生徒が学校を誇りに思うように、何か光るものがある学校にしてください。 ○部活動においては、技術面の指導と共に、応援のマナー等もしっかり教えて欲しいと思います。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ol style="list-style-type: none"> 1 来年度の方策・指標については、整理し半数に絞り込む。 2 学力の定着・向上については、家庭への協力の項目を設定する。 3 生徒指導については、小学校と協力し、生活全般についての意識向上をはかる。 4 部活動については、個性の伸長を目途に多様化の工夫をする。 5 小中5校の統合を見据え、オンリーワンの活動を計画する。
--------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------